

## 今年の漢字は「金」 オリンピック反映



今週の13日(月)に京都・清水寺の森清範貫主が揮毫したのは「金」。これまでに金が選ばれたのは、2016年、2012年、2000年。いずれもオリンピックが開催された年。今年の「金」について、応募者が選んだ理由の概要として日本漢字能力検定協会が挙げたのは、以下の通り。

●コロナ禍で開催された東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手が多数の「金」メダルを獲得した ●大谷翔平選手が大

リーグ MVP を満票で受賞するなどリアルニ刀流でシーズンを通して活躍、さらに松山英樹選手の日本人初のマスターズ制覇、藤井聡太棋士の最年少四冠達成など、国内外でこれまで成し得なかった多くの「金」字塔が打ち立てられた ●飲食店への休業支援「金」・給付「金」、子育て世帯を対象とした臨時特別給付「金」の議論、新紙幣印刷開始や新500円硬貨流通など、お「金」にまつわる話も数多く話題に上がった。

今年の漢字は1995年に始まり、今年で27回目。師走の恒例イベントとなっている

13年前の「進路通信 信・伸・心 ing」より

## 「恕」の字を書きたい

◆毎年「今年の漢字」を揮毫する森清範貫主のインタビュー記事が2008年12月8日(月)毎日新聞の夕刊に載っていた。その中で記者が「いつか書きたい字はありますか」の問いに貫主(かんす)は『恕』と・・・

『恕』 ゆるす・思いやる

忠恕(ちゅうじょ) まごころと思いやりがあること。  
仁恕(じんじょ) あわれみ深く、思いやりがあること。  
寛恕(かんじょ) 広い心で許すこと。度量広く思いやりの深いこと。  
宥恕(ゆうじょ) 寛大な心で許すこと。許しとがめないこと。

◆『忠恕という言葉もありますが、心の底から思いやる、相手の気持ちになるという意味です。これ、人倫の基本だと孔子さんが言ってますよ。発心即到という言葉もあって、思いついたら、すでに到っている。できなくてもいい、そうしようと前向きな気持ちでいきましょうよ。』と・・・

◆また、インタビューの中で貫主はこんなことも言っています。ある日、米国の元副大統領、モンデールさんが訪れたとき

『清水の舞台から飛び降りとは、グランドキャニオンから飛び降りるってことですね?とおっしゃったんです。誤解されているんですな。あの言葉は、観音さまに一切をおまかせする、観音さまと一緒に歩む気持ちになる、そうすれば見守ってくださる、心の安らぎが得られる、という意味ですね。』

◆平安の昔から庶民の信仰を集めた観音さま、インテリだった紫式部も清少納言もお参りしている。どこかに安らぎがなければ、不条理なこの世を生き抜くのは難しい。ある意味で知恵である。

『信仰心だけやない。日本には日本のやり方がある。そろそろ、それを掘り起こし、生活に取り戻していく。必要ですよ、もともと勤勉でしょ。』

近江商人の“三方よしの精神”もそう。売り手よし、買い手よし、世間よし。それを忘れ、むちゃくちゃになった。偽物だらけ・・・2007の「偽」を受けて(裏面参照)

◆続けて・・・『もつともつと無駄を』とも繰り返す。

『やっぱり、ほんまものの力を付けるには余分なことやらんと。小僧も寺に入ったらすぐお経を教えてもらえるかという、そうではない。朝は掃除、ご飯炊き、そして後片づけ、そんなのをずーっとやってきて、お前、そこへ座れ、それからお経です。子守やお使いもするなあ。それがプラスになるんですわ。』

◆つまり、効率ばかり追い求めるな、としきりに戒めるのだ。 さらに、話しはユネスコの  
前文に・・・

<戦争>は人の心の中で生まれるものであるから、  
人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。(前文の一部)>

『これ、まるでお経やないかと思いました。戦争は自然発火するんやない。誰かが火をつけるんです。平和は勝手に生まれない。不斷の努力がいる。日本、していますか?』と・・・

◆ここからは、僕の感想なんだけど、前文の戦争を「身勝手、エゴ、偏見、憎しみ、見栄、欲・・・」などと置き換えると、すべて自分の心の中で生まれるものだ。それらを少しでもそぎ落として、心に「恕」のとりでを築こうよ!と言っているのだと思う。

「心の風邪」はなるべくこじらせない方がいい。

「感謝」のとりでを築き、

心の風邪ウィルスから心を守る。

それには、不斷の努力がいる。

君は、僕はしているだろうか?

恕の心を築くにも、不斷の努力がいる!!

たのもししい人間に・・・ああ、反省、反省・・・

PS: 2019年僕の漢字は、「孫」だった。4月に生まれてから双子の姉弟に振り回されていたからなあ! 現在2歳8ヶ月、めっちゃ可愛い(笑)。2020年は「再」61歳、再任用1年目、色々と周りに迷惑をかけて生きているからなあ。そして今年は「偲」、2010年6月に母が亡くなり、今年8月に父が亡くなった。さて、君たちの2021年の漢字は?

**1995 年 「震」**  
阪神・淡路大震災や、オウム真理教事件、金融機関などの崩壊に“震えた”年。

**1996 年 「食」**  
O-157 食中毒事件や狂牛病の発生、税金と福祉を「食いもの」にした汚職事件の多発。

**1997 年 「倒」**  
山一證券など大型倒産の続出やサッカー日本代表が強豪を倒してワールドカップ初出場決定。

**1998 年 「毒」**  
和歌山のカレー毒物混入事件、ダイオキシンや環境ホルモンなどが社会問題に。

**1999 年 「末」**  
世紀末、1000年代の末。東海村の臨界事故や警察の不祥事など信じられない事件が続出して、「世も末」と実感。来年には「末広がり」を期待。

**2000 年 「金」**  
シドニーオリンピックでの金メダル。南北朝鮮統一に向けた“金・金”首脳会談の実現。新 500 円硬貨、二千円札の登場など。

**2001 年 「戦」**  
米国同時多発テロ事件で世界情勢が一変して、対テロ戦争、炭そ菌との戦い、世界的な不況との戦いなど。

**2002 年 「帰」**  
北朝鮮に拉致(らち)された方の帰国、日本経済がバブル以前の水準に戻ったこと、昔の歌や童謡のリバイバル大ヒットなど「原点回帰」の年。

**2003 年 「虎」**  
阪神タイガースの18年ぶりのリーグ優勝、衆議院選挙へのマニフェスト初導入で政治家たちが声高に吠(ほ)えたこと、「虎の尾をふむ」ようなイラク派遣問題など。

**2004 年 「災」**  
台風、地震、豪雨、猛暑などの相次ぐ天災。イラクでの人質殺害や子供の殺人事件、美浜原発の蒸気噴出事故、自動車のリコール隠しなど、目を覆うような人災が多発。「災い転じて福となす」との思いも込めて。

**2005 年 「愛」**  
紀宮様のご成婚、「愛・地球博」の開催、各界で「アイちゃん」の愛称の女性が大活躍。残忍な少年犯罪など愛の足りない事件が多発したこと。「愛」の必要性と「愛」欠乏を実感した年。

**2006 年 「命」** **＜君たちが誕生した年＞**  
悠仁様のご誕生に日本中が祝福ムードに包まれた一方、いじめによる子どもの自殺、虐待、飲酒運転事故など、痛ましい事件が多発。ひとつしかない命の重み、大切さを痛感した年。

**2007 年 「偽」**  
食品に偽:食肉、野菜、菓子、ファーストフードまで、産地や素材、賞味期限に多くの「偽」。政治も偽:年金記録、政治活動費、米艦への給油量にも「偽」が発覚し、国会答弁も「偽」。老舗にも偽:伝統ある土産品にも、名門の老舗料亭にも「偽」。思わず「ああ、お前もか…」さらに・・・耐震強度偽装、スポーツ選手、英会話学校にも「偽」。

**2008 年 「変」**  
政治の変:日本の首相の交代、アメリカの次期大統領の「change(変革)」。経済の変:世界的な金融情勢の変動。株価暴落や円高ドル安などの大幅変動。生活の変:食の安全性に対する意識の変化。物価の上昇による生活の変化。気候の変:世界的規模の気候異変による、地球温暖化問題の深刻化。地震やゲリラ豪雨などの天変地異。

**2009 年 「新」**  
新政権の誕生衆議院総選挙で政権が交代し「新政権誕生」アメリカでも新大統領(オバマ)が就任し、日米の新しい政治に大きな期待が寄せられました。スポーツ界の新記録イチロー選手が9年連続 200 安打で大リーグ新記録、世界陸上競技選手権大会ではウサイン・ボルト選手が2つの世界新記録を更新、世界水泳選手権では史上最多の世界新記録が誕生。また新型インフルエンザの猛威世界的に大流行。「裁判員制度」という新しい司法制度が施行される。

**2010 年 「暑」**  
記録的な「猛暑」日の連続により、熱中症にかかる人が続出、「暑さ」対策の支出と野菜価格の高騰が消費者の生活を直撃。自然界では魚介類の不漁や、山で餌不足となった動物が人里に出没、いつまでも続く「酷暑」に地球温暖化の警鐘を感じた。チリ鉱山のトンネル内落盤事故では、地中の「暑い」中から 作業員全員が生還したことで人々は勇気づけられ、「はやぶさ」は大気圏突入時の猛烈な「暑さ」に耐え、無事帰還し、日本の未来への希望を届けた・・・

**2011 年 「絆」**  
東日本大震災をはじめとした大規模災害により身近でかけがえのない人との絆をあらためて知る。なでしこジャパンのチームの絆にも感動。

**2012 年 「金」**  
「金」に関する天文現象の当たり年。数多くの「金」字塔が打ち立てられた1年。「金(かね)」をめぐる問題が表面化。

**2013 年 「輪」** **＜小学校入学＞ピカピカの一年生**  
日本中が「輪」になって歓喜にわいた年。人とのつながりの「輪」を感じた1年。未来に向けた更なる「輪」を実感、注目。

**2014 年 「税」** **＜小学校2年＞**  
消費「税」率が17年ぶりに引き上げられ「税」について考えさせられた年。「税」に関わる話題が政財界で多く取り沙汰された1年。

**2015 年 「安」** **＜小学校3年＞**  
安倍政権のもとで安全保障関連法案の採否をめぐり国論を2分した点や、世界で続発したテロや異常気象、マンションの杭打ちデータ流用などで人々が不安になったことなどが理由に挙げられた。

**2016 年 「金」** **＜小学校4年＞**  
リオデジャネイロ五輪での日本人選手のコメダルラッシュや、「政治と金(カネ)」に絡む問題が次々に浮上したことなどが理由。

**2017 年 「北」** **＜小学校5年＞**  
昨年は、度重なる北朝鮮のミサイル発射や核実験の強行、九州北部豪雨などを反映し、「北」が選ばれた。

**2018 年 「災」** **＜小学校6年＞**  
北海道や大阪府北部の地震、西日本豪雨や台風、記録的猛暑などが理由で選ばれた。

**2019 年 「令」** **＜中学校入学1年＞**  
新元号「令」和に新たな時代の希望を感じた一年。「令」和が日本最古の歌集・万葉集からの出典で、海外に Beautiful Harmony＝美しい調和と説明されたことや、「令」の字が持つ意味・書き方にも注目が集まった。

**2020 年 「蜜」** **＜中学校2年＞**  
新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、政府などが3密(密閉、密集、密接)の回避を多く発信したことが反映された。